

# 希

# ～き～

# 1月



## 無限なる希望

日立一高附属中学校  
第2学年だより  
No. 8  
令和2年1月8日発行

“We must accept finite disappointment, but never lose infinite hope.”

「私たちは、限りある失望を受け入れなければならない。しかし無限なる希望を失ってはならない。」(キング牧師)

新年明けましておめでとうございます。

昨年は2泊3日の「宿泊を伴う共同生活学習」を始めとして、いくつかの大きな学年行事があり、保護者の皆様には様々な面でご支援ご協力をいただき大変お世話になりました。お陰様で大きな事故や怪我もなく、無事に新しい年を迎えることができましたこと感謝申し上げます。

さて、冒頭の英文はアメリカ公民権運動の指導者であるキング牧師の言葉です。1950年代のアメリカ合衆国では、公然と行われていた人種差別を擁護する側とその撤廃を求める側との対立が深まり、衝突も多発していました。やがて60年代に人種差別撤廃を求める公民権運動が全米に広がっていきます。キング牧師はその先頭に立って活動した人物で、64年には今までの功績と勇気に対してノーベル平和賞が授与されました。キング牧師はどのような思いを上記の言葉に込めたのでしょうか。生徒たちも今年の春には最高学年となり、義務教育最後の1年を迎えます。それぞれの「無限なる希望」に向かって迷い無く歩き出せるよう、私たち職員も残りの日々を生徒と共に大切に歩んでいきたいと思えます。本年もどうぞよろしくお願いたします

### ◎ 1月の行事予定

- 7日 校長講話・大掃除
- 9日 茨城県学力診断テスト
- 10日 中学入試準備 **昼食持参**
- 11日 中学入試関連 } **※生徒登校**
- 12日 中学入試関連 } **禁止**
- 13日 成人の日
- 16日 後期委員会
- 17日 漢字検定
- 21日 中学入試関連 **※生徒登校禁止**
- 25日 英語検定1次



### 2月の予定…

- 4日 外部模試
- 6日 後期委員会
- 7日 定期考査前部活なし(～12日)
- 11日 建国記念の日
- 12日 第4回定期考査1日目
- 13日 第4回定期考査2日目
- 17日 中3シンガポール研修(～21日)
- 23日 天皇誕生日・英検2次
- 27日 SSH成果発表会



### ◎ 11月19日 マラソン大会in笠松運動公園

一人一人が素晴らしい走りでした。学年上位入賞者を紹介します。

- 男子 1位 清水聡真 2位 大宮夏希 3位 長澤匠真
- 女子 1位 藤山理彩子 2位 高平結衣 3位 大内絵里香

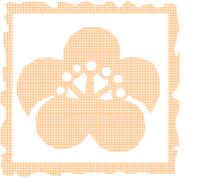
生徒の感想の一部をご紹介します。

1組 金丸 祐太

マラソン大会では31位という、前回から27位も上がった結果がとてもうれしかったです。特に、目標にしていた友達に勝てたのがとてもうれしかったです。僕はサッカー部二年生の中でかなり遅い方で、練習の時から友達に勝つために必死に追いかけしていました。勝てないと思った時もありました。マラソン大会当日は体調がよかったので、友達の後をついて行くように走り、15分経過したところでペースを上げて抜かしゴールしました。負けたくないという気持ちが大きくて勝つことができ、よかったです。

2組 大内 絵里香

私はマラソン大会でまた一步、自分を成長させることができたと実感しています。マラソン大会前の練習では、昨年の自分に打ち勝とうと、1秒1秒を大切に懸命に走りました。そして迎えた本番、私は目標を達成できるかどうか不安でした。しかし、先に走っていた高校生や男子が、きつなくても最後まで走ったり笑顔でゴールしたりする姿を見て、私も「笑顔でゴールできるよう頑張ろう」と思えるようになり、終盤がきつなくても走り切れました。来年もマラソン大会を笑顔で終えることができるようにしたいです。



### ◎ 12月6-8日 科学の甲子園ジュニア全国大会出場!

科学の知識と応用力そしてチームの団結力を武器に、強敵のライバル校と渡り合い、見事、6位に入賞しました! 出場した代表メンバーをご紹介します。

大西快晴 小尾美由紀 内田絆里 松尾健司 伊藤由美 おめでとうございます!

### 12月18日 合唱コンクールが行われました

優秀賞1組 優良賞2組 指揮者・伴奏者賞1組 高平結衣・名倉匠平 でした!

1組 武石 亜菜柙

今年の合唱コンクールはとても充実していました。インフルエンザにも負けず本番は40人で歌えました。2-1では40人全員が何かしらの合唱の係になり、自分の仕事に取り組みました。2-1は去年のクラスよりも「気持ち」や「声」、「動き」がほぼすべてそろっていました。本番前最後の練習の時、泣きそう(感動と嬉しさのため)になりながら伴奏をしました。本番の結果発表の時には、これまでの人生で一番手が震えました。2-1というクラスの一員として、40人で勝利をつかめてとてもうれしかったです。

2組 佐東 直哉

合唱曲が決まり、それぞれの係を決める時、音楽経験がないにも関わらず、パートリーダーを選びました。最初は全く団結力がなく「やめておけばよかったかなあ」と思ったときもありました。ついに迎えた本番、歌っている時は心は落ち着いていましたが体は震えていました。歌っている時の達成感がすごく、合唱はこんなに気持ちのよいものなのかと感じました。結果は負けてしまいましたが、全く悔いが残らず、2組の本気を出し切ることができたと思います。

